



### コース説明

国道212号から川沿いの道路へ進むと対岸の岩壁に「青の洞門」が見える。道は国道500号直前に左折し、洪水時には水面下となる沈下橋の通称"犬走り橋"を渡る。幅が狭い橋を渡ると曾木の町中を通過、町中には「中津からあげ」の店もあるので食欲を満たすことも出来る。そば加工品がある道の駅「耶馬トピア」には食堂・トイレ・自販機・駐車場あり。水田地帯を抜けると道は山側の旧参道へ向かう。そびえ立つ岩壁と羅漢寺のたたずまいは圧巻。「羅漢寺参道」の階段を下りトンネルを抜け、田園風景の集落を歩くと国道500号に到着。ここでは「洞鳴峡」を見ることが出来る。青の洞門地域を楽しむ散策コース。

### 起点: 青の洞門

中津駅よりバス乗車

### 終点: 国道500号線

中津市コミュニティバス「上津小前」バス停より乗車。

### おすすめポイント

- **青の洞門**  
通行の難所に作られた隧道。完成は1763年（宝暦13年）当時は機械はなく人力による手堀りで完成した。
- **羅漢寺**  
そびえ立つ岩壁に埋め込まれたかのように寺院がある。日本全国にある羅漢寺の総本山。